

あ
あ
あ

TONAMI GENERAL HOSPITAL

2004・冬

「創刊号」



FEATURE

[砺波市健康センター OPEN]

CONTENTS - 目次

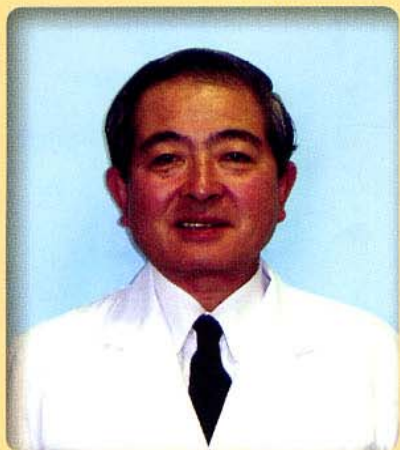
- Page2. 創刊のあいさつ
- 3. 理念・憲章 当院のよさとめざすもの
- 4. 特集/砺波市健康センター
- 6. 各科だより
- 8. 病院案内・伝言板



創刊

A greeting of
the first publication

の あいさつ



市立砺波総合病院
院長 小杉 光世

このたび、院外向けの広報誌「おあしす」発行で、広く皆様に当院を知っていただく1ページが開かれました。21世紀が始まり3年、地域の医療センター的役割を担う当院が創立55年目に当たる本年、病院の姿と生き生きとした活動の中から皆様に役だつお知らせを数ページに凝縮して発信することは、将来へ向けた大きな夢実現の第一歩です。また地域に根ざした当院が前進する旗印として極めて意義があり、院長として感慨深い喜びです。

医療以外のサービスでは、音楽で癒す「オアシスコンサート」の夕べは既に20回開催されています。「オアシス文庫」所有の多くの本も自由に利用されています。昨年11月15日よりK.H先生のご尽力と賛同された砺波地区の芸術作家のご好意により外来廊下二階の空間「おあしすギャラリー」に絵画、彫刻など素晴らしい芸術作品を展示していただき、皆様にゆっくり鑑賞していただいています。

数年前より着工増改築工事「オアシス計画」では現地建て替えの欠点とはいえ、騒音、導線の混乱など未だに多大なご迷惑を掛けています。ご協力いただいた皆様にはこの場を借りて心から感謝とお礼を申し上げ、今しばらく全面開院までご辛抱をお願いいたします。今度の建築では、皆様のプライバシーが守れる外来ゾーンができましたが、駐車場からのアクセスなど利用しにくい大きな課題が現時点ではまだ未解決です。心身共に苦痛の入院生活を少しでも穏やかに過ごせるよう、和風にまとめ暖かさ優しい部屋になるよう障子窓にしましたが皆様には如何でしょうか。

砺波市を始め広く砺波医療圏の住民の皆様が開かれ、親しみを持って当院を利用される方々、当院を訪れる全ての皆様に信頼されることが当院の理念です。当院が砺波のこの地であって良かった、総合病院を利用したら納得の心溢れる医療を受けられた、協力するから益々がんばって。と励まされ、地域に貢献できる病院を目指しています。

本誌が病院と皆様から両方向の意見交換の場になってもらいたいと思います。不満や苦情は院内設置の「宝石箱」にどんどんご意見をお寄せください。苦情をいただけるのは宝、それが宝石箱の由縁です。誠心誠意対応いたしますので、苦情はより具体的にいただけますようお願い致します。対応は、玄関廊下に掲示しており、今後はその概略を本誌に掲載できるものと思っています。皆様のご意見が本誌を、そして当院を育てる源泉です。

専門職員の業務記録をまとめ毎年発行する「活動業績集」、院内情報誌「となみそうごう」は既に軌道に乗っています。今回やや遅きの感がありますが漸く院外に発信する本小冊子「おあしす」で当院の3本柱が揃いました。ホームページでも閲覧できますのでご利用ください。

市立砺波総合病院憲章

わたくしたちは

市立砺波総合病院の職員であることを誇りとし
愛と奉仕の精神のもとに病気で悩める人々を癒すことに
互いの心を結集しこの憲章を定めます

市立砺波総合病院は

- 1 患者様の権利を尊重します
- 1 信頼できる医療を提供します
- 1 医療の安全を追求します
- 1 優しい医療を行います



理念

地域に開かれ
地域住民に親しまれ
信頼される病院

当院のよさを

と

めざすもの

当院が最も誇るよさは、まず住民の暖かさや辛抱で育ててくださったお陰で今日があることです。緑あふれ閑静な散居村となみ野の地にあり、地域の皆様に愛され信頼されそして親しまれて健全に成長させていただき、本当にありがとうございます。

最近厳しい日本経済の中で、最も大切な「命」はどうすれば守られ、大事に扱われるのでしょうか。砺波が当院に求めるものは何でしょうか。医療の原点は患者様のお役に立てるかどうかです。私が常に軸に据えるのは「患者中心の医療」提供です。皆様が納得される安全、安心の「より良い医療」を気持ちよく苦痛なく受けていただける病院になることが院長方針です。

先進かつ総合的使命を持つ当院は、特に例えば小児医療や救急医療など地域で展開されにくい診療を早急に解決すべき当面の課題と考え、その対応と充実に向けて展開しているところ

当院に欠くことのできない使命は「救命救急医療」「急性期医療」「がん治療」など先進医療の提供です。二方他の病院にない「口腔蓋裂センター」、大腸肛門科や東洋医学などの特徴ある診療科も住民サービスに必要なかと思えます。患者様のお役に立つには、今後は医療の谷間、隙間をきめ細かく埋めることも大切です。例えば関連診療科が共同して骨盤機能障害センター、西洋医学と東洋医学が相補診療する総合医療など「人を疾患としてではなく、人として見る」人間尊重の医療を積極的に展開することも必要でしょう。

回復期リハビリ病棟がありますが、在宅や療養型病院には行けない転院困難な重症疾患患者さんに対応できる病床をどうするか、神経難病や重度意識障害者を受け入れる特殊疾患療養病棟や緩和ケア病棟の開設も大きな課題です。今回精神科は一般病棟の中に入り、人権配慮の急性期医療が展開されています。これらの展開は皆様が利

己から利他の心で、さらに広い理解、ご協力とボランティア活動がないと実現は難しいと思っていますのでよろしくお願いたします。

増改築工事により医療基盤の整備がほびれました。しかし今日的には当院は病床規模も外来担当部門も専門的に診断すると、体重オーバーの肥満と硬直した動脈硬化の状態といえます。スリムに解決しないと私の使命である健全経営は得られません。今後は機会を見つけて「連携がなぜ 大切な」など色々お話ししたいと思います。

人すこやか・心なごやか・緑さわやか

砺波市健康センター（仮称）

2004年4月1日OPEN



平成16年4月1日に砺波市健康センターがオープンします。

只今、急ピッチで改装工事が進んでいます。

その概要特色等を砺波市健康センター準備室長の北野喜行先生に伺いました。

Q1

砺波市健康センターの施設はどのようになっていますか？

砺波総合病院旧北棟の1、2、3階を利用します。1階は砺波市健康センターの受付です。健康センター専用エレベーターがあります。2階には現砺波市健康福祉課からの職員、保健師、看護師と砺波総合病院地域医療連携室からの保健師、看護師、ソーシャルワーカーが勤務し、健康推進事業と相談をいたします。

健康推進事業として、各種健診・予防接種・母子保健推進事業・食改善事業などがあります。

このフロアーでは市民の皆様のご健康・医療・介護に関する全てのご相談に応ずる事が出来ます。又、砺波医師会医師・砺波総合病院医師の依頼により患者家庭へ訪問看護を行います。

Q2

ワンフロアー受診方式となっていますが、具体的な受診内容は？

3階は健診センターです。ワンフロアー受診方式で3階をぐるりとひとまわりして頂きますと全ての健診が終了します。（健診プログラムの種類により、幾つかの項目は当分病院外来で健診を行う予定です。）

政府管掌保険生活習慣病予防健診と市民で希望される方を対象に、生活習慣病の予防健診を行います。

内容は、尿・血液・心電図・

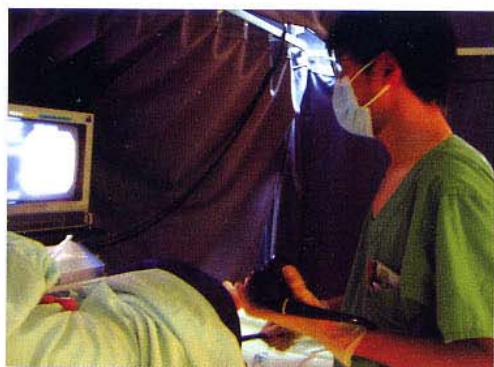
聴力・眼底・肺機能検査・

胸部レントゲン撮影・胃

透視です。

予防

- 0 健康が維持できる環境
- 1 病気の基を絶つ
- 2 早期発見・早期治療
- 3 質の高いリハビリ



●大腸内視鏡検査



砺波市健康センター 健診プログラム

これからの医療は治療から予防へ検診から健診へ

定期健診

- 政府管掌保険生活習慣病予防健診
- 労働安全衛生法定期健診

市民健診

- 市民希望者

人間ドック

- 日帰りドック・・・上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査
- 1泊ドック・・・全大腸(直腸・横結腸・盲腸)内視鏡検査
歯科 歯周疾患検査
- 特殊ドック・・・脳ドック 骨ドック

特殊検査

- PET(全身癌チェック)
- 肺癌ヘリカルCT検査
- 乳癌マンモグラフィー検査
- 前立腺癌等の腫瘍マーカー血液検査

T H P

- 運動・栄養・保健・メンタルヘルス指導

Q3

人間ドックは
気軽に受診できますか？

人間ドックには日帰りドックと1泊ドックの2種類があります。
日帰りドックは、生活習慣病の検査の他に、超音波腹部検査、内視鏡(胃カメラ)による食道、胃、十二指腸内視鏡検査を行います。
1泊ドックは、更に大腸全ての内視鏡検査と歯科にて歯周疾患検査をいたします。

Q4

その他何か特殊な
ドックはありますか？

脳ドック、骨ドックなどがあります。
その他の特殊な検査として、ヘリカルCT検査による肺がんチェックやマンモグラフィーによる乳がんチェック、血液検査による前立腺ガン等の腫瘍マーカーチェック、又、PETによる全身がんチェックも予定しています。その他THP(トータルヘルスプラン)という全身の健康維持のため、運動と栄養と健康、メンタルヘルスを含んだ健康増進プログラムの指導を行います。

全ての市民が健康で明るく生活のできる社会の実現を目指して、平成15年9月に砺波市健康プラン21が策定されました。健康計画目標として、壮年死亡の減少、痴呆、寝たきりを予防し、健康寿命の延伸が挙げられています。これからの医療は治療から予防へと、疾病予防に今大きな関心が寄せられています。

予防の考え方は・・・

- 0次予防 **健康が維持されるに相応しい環境作り。**
公共施設、例えば病院を全館禁煙にするなど、健康増進法の施行により禁煙対策が現在全国で進められています。
- 1次予防 **病気の基を絶つ。**
食生活、嗜好、身体活動の習慣を改善して、糖尿病、高血圧、慢性呼吸不全などの生活習慣病にかからないことです。
- 2次予防 **検診により病気を早期に発見し早期に治療をする。**
癌、脳卒中、心疾患などの死因の高いこれらの病気は、早期発見、早期治療が重要です。
- 3次予防 **良いリハビリテーションを受け障害を少なくする。**
不幸にして病気になってしまった時は、疾病治療の後に出来るだけ障害を残さないようにすることです。

これからの時代1人1人が病気の予防に関心を持つ事が大切です。しかし食生活や嗜好の悪習慣は、わかっているけど止められないのが人間です。生活習慣病の予防や、現に生活習慣病を患っている方々が、その疾患を増悪させない取り組みには、個人の努力のみでは不十分です。地域をあげての取り組みが必要です。

砺波市健康センターは市民の皆様の健康づくりの要として、疾病の予防・管理のお役に立つ所存です。

砺波市健康センター(仮称) 準備室長 **北野 喜行**



後書き

健診センターの健診結果はすべてフィルムレス、ペーパーレスでコンピューター管理保存され、将来の健診、疾病治療に役立てることが出来ます。健診フロアーは病院外来ではありませんので、明るい和やかな雰囲気の中健診センターを計画しています。

外科

腹腔鏡手術



医長
家接 健一

1990年に日本で最初に腹腔鏡を使った胆嚢摘出術が行われましたが、当初は従来の手術法と大きく異なるため、批判もたくさんあったようです。しかし、今では胆石症の治療として、腹腔鏡手術が多く行われています。それから13年後の現在では、胆石症手術にとどまらず泌尿器科や婦人科分野でも、この腹腔鏡手術が急速に増えてきています。

腹 腹腔鏡でする手術の利点は、創が小さく体の負担も少なく、術後の回復が早いことです。そのため、退院も社会復帰も早くできます。

病 院により違いますが、例えば外科では、大腸切除、胃切除、虫垂切除、穿孔性十二指腸潰瘍手術、食道裂孔ヘルニア手術、脾臓摘出などがこの手術の対象となっています。

手 術は最初に1.5cmくらいの小さい穴（小孔）を腹部に開けます。そこから、二酸化炭素を送気してお腹をドーム状に膨らませ、腹腔鏡を入れます。お腹に中があたかもルーペを介して見たように、拡大してモニターテレビに写し出されます。

他に5mmや10mmの小孔を数個開け、専用の鉗子やはさみ等の道具を入れ、モニターテレビを見ながら手術を進めていきます（写真）。

切除する範囲などは開腹と大差ありません。ようするに創を小さくして、同じ範囲を切除しようとするのです。



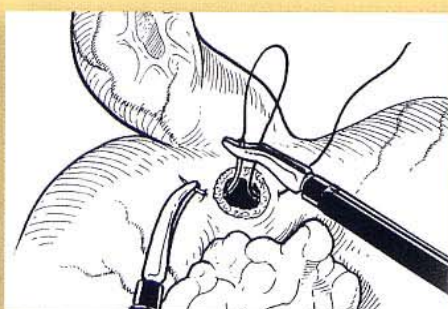
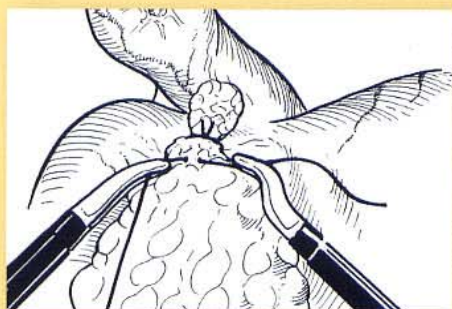
欠 点もあります。例えば手術時間が長くなります。また、見えないところで他臓器を損傷したり、止血がむずかしかったり、器具の挿入で血管を損傷したり、腹腔鏡特有の合併症も「ユース」になっています。経験や修練によりその数は減っていくと願っております。



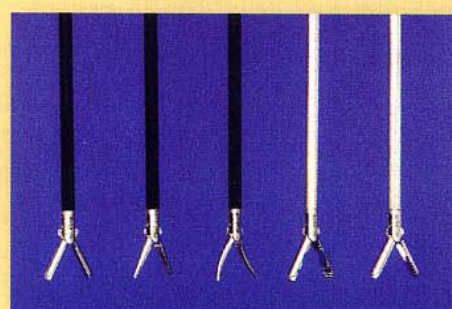
誕 生して間もない手術法ですが、その有用性が認められ、どんどん広まっています。

当院でも胆嚢摘出術、大腸手術、虫垂切除、穿孔性胃十二指腸潰瘍手術などにこの手術法を安全におこなっています。

今後より良い技術を日々の診療に取り入れ、皆様に還元していきます。



十二指腸潰瘍穿孔に対する手術



使用する鉗子

adviser
 医長
 由良 晋也



歯科口腔外科

顎関節症に対する関節鏡手術

顎関節症は、あごの関節に痛みが出て大きな口が開かなくなる病気

開かなくなる病気

□を開ける時にあごの関節がカクカクなる、硬いものを噛んだときや大きな口を開けたときにあごが痛い、また大きく口を開けられないなどの症状は、顎関節症にしばしばみられる症状です。これまでの調査では、顎関節症は国民の20%から45%にみられると報告されていますが、その原因や病気の進み方については未だ明らかではありません。しかし、治療法は開発されており、顎関節症を正しく診断し治療を行うことにより短い期間で治るようになってきました。

症状に合わせ、効果的に症状の改善を図る

あごの関節に痛みがあり大きく口を開けることができない場合には、関節の中で炎症や軟骨のきず、癒着などをきたしています。市立砺波総合病院では、特殊な画像検査(MRI)や直径がわずか1.2mmの内視鏡検査により正しく診断して治療を行うことにより、優れた治療効果を得ています。

まず、あごの安静と口を開ける練習を行ってみる

痛みの程度が軽い場合には、関節に障害を加える過剰な力を軽減させる目的で、あごの安静と口を開ける練習(開口訓練)を行います。関節に加わる力が弱まれば、炎症がおちつき軟骨の表面が改造されて症状は軽くなります。

痛みが強い場合には、関節を洗う治療(洗浄)を行う

病状が進んでいる患者様には、関節鏡を使った剥離授動術や関節洗浄療法、パッピング療法などで、関節の中を洗浄し垢けた後に開口訓練を行うと、早期に痛みや口の開く量の改善が得られます。私たちは、局所麻酔で短時間に関節を洗浄し拡張することが可能な、簡便な関節洗浄療法を開発しました。顎関節用の細い内視鏡(2mm)を用いると、洗浄中に関節の内部を観察し癒着をはがすことも可能となり、診断と治療に大きく役立つています。

癒着がない場合には、局所麻酔で洗浄する

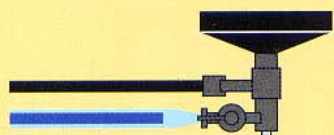
MRI検査で癒着の可能性が少ないと診断された場合、局所麻酔で関節鏡の検査と関節洗浄療法を行います。もしこの検査で癒着が観察されても、高い水圧で洗浄することにより癒着を除去することができます。手術時間は、15分から30分です。

癒着がある場合は、高い圧で洗浄し癒着をはがす

癒着が疑われる場合には、洗う水圧で癒着をはがします。局所麻酔でも痛みはありませんが、耳のそばでいろいろな操作を行うのは必ずしも気持ちのよいものではありません。術後1泊の入院が必要になりますが、鎮静法ないし全身麻酔での手術ではほとんど苦痛を伴わず、また十分な洗浄とはがす操作を行うことができます。

術後、口の開く量と痛みは、このくらい改善する

治療効果について術後2か月目で評価すると、口の開く量は平均約10mm増加し、痛みはほぼ全例で軽減が得られ、その軽減量は平均約70%です。



関節鏡視所見



MRI(骨の変化)



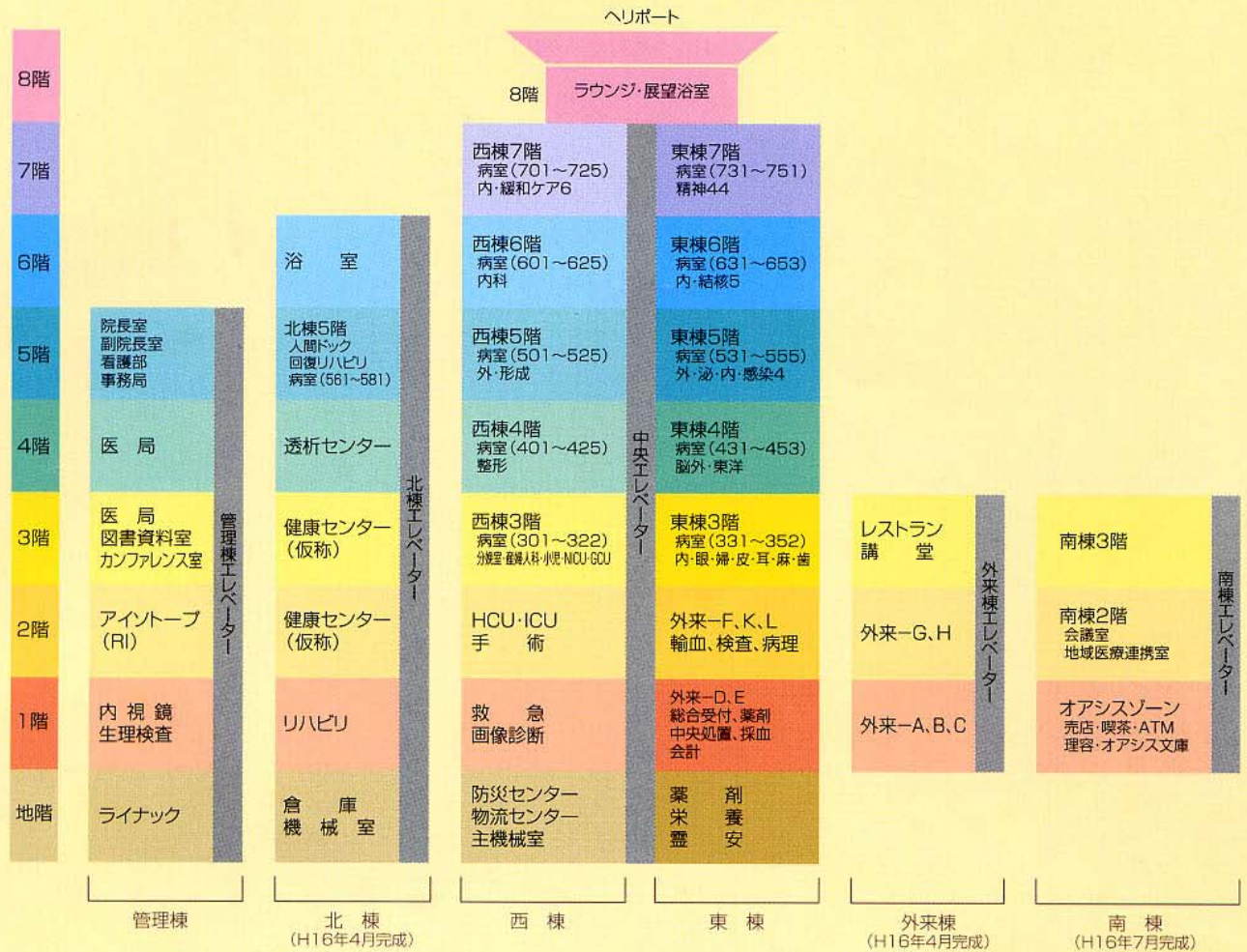
関節鏡視検査・関節洗浄療法



関節鏡視所見(癒着除去)

病院案内

HOSPITAL GUIDANCE



診療時間

CONSULTATION HOURS

[外来診療時間]

平日 午前8時30分から午後5時まで

※診療科・曜日によって異なりますので、詳しくは下記までお問合せください。

[休診日]

土・日・祝祭日および年末年始

市立砺波総合病院

〒939-1395 富山県砺波市新富町1-61

TEL 0763-32-3320(代表)

FAX 0763-33-1487(総務課)

E-mail tgh01@tgh.tonami.toyama.jp

www.tgh.tonami.toyama.jp/

伝言板

MESSAGE BORDS



連携と紹介状が
なぜ大切なの？

一人のお医者さんだけでは対応できない医療の高度化で、開業医と病院の専門医が二本立てで診療する時代になりました。

急がない病気は「かかりつけお医者さん」にかかってください。例えば病院外来が風邪の患者さんで溢れ順番待ちになると、「肺炎患者さん」が手遅れになることとなります。かかりつけの先生が見極める簡単でいざという入院の必要な病気は私達が診るその橋渡しが「紹介状」です。

皆さんがより安心できるきめ細かい医療が受けられるようご理解ください。